

令和4年度 岐阜市障害者総合支援協議会 第2回専門部会 議事要旨

日時 令和4年7月5日(火) 15:30~17:00

場所 岐阜市役所6-1大会議室

出席者 障害福祉サービス事業所

(共同生活援助、宿泊型自立訓練、施設入所、相談支援) 24名
精神科病院 4名
岐阜県住宅確保用配慮者居住支援法人 3名
指定管理、委託事業所 6名

(合計 37名)

○検討テーマ…地域生活支援拠点等「体験の機会・場」について

岐阜市における地域生活支援拠点等整備について、昨年度まで主に、「相談」「緊急時の受け入れ・対応」の機能について協議を進めてきた。今回は「体験の機会・場」の機能の整備について協議した。

1. はじめに

- ・岐阜市障害者総合支援協議会の概要
- ・第2回専門部会の趣旨や流れについて

2. 地域生活支援拠点等整備について(概要説明)

- ・国が示す地域生活支援拠点等整備について(資料1)
- ・他自治体における地域生活支援拠点等の事例について(資料2)
- ・岐阜市における地域生活支援拠点等整備について(資料3)

3. 株式会社くらしケア「体験ハウス」について

地域移行支援や親亡き後を見据えて、単身生活を体験できる場として、自立準備に利用できる社会資源として紹介。(資料4)

4. グループワーク

岐阜市における地域生活支援拠点等「体験の機会・場」の整備、機能の充実のための方策について、3グループに分かれて協議。

※以後、「地域生活支援拠点等」を「拠点等」と略記。

<意見>

- ・単身生活を希望する障がい者がグループホームを体験利用することは、アセスメントにつながる。
- ・長期の施設入所者や入院患者であっても、地域での生活につながる可能性のある体験ができることは良いことだが、生活能力が低下している場合、実際に地域生活ができるのか不安がある。
→日中支援型グループホームによる支援が検討できる。

- ・親亡き後を見据えた地域生活体験のニーズはあるが、障がい者本人が体験を希望しないことがよくある。
→障がい者本人の意思を尊重しつつも、支援者が信頼関係を築きながら働きかけを継続できると良い。
- ・病院や施設から、地域での単身生活に向けて賃貸アパートの一室を利用して体験しているケースがある。
- ・グループホームによっては支給決定なしで体験利用の機会を提供している事業所や、実費で体験利用が可能な事業所があり、実際に実施したことがある。
- ・グループホームという障害福祉サービスについて知ってもらう機会として体験利用を提供したことがある事業所がある。
- ・地域生活の体験の機会としての、グループホームの体験利用ができる事業所があるものの、障がい者や家族はあまり知らないため、周知していく必要がある。

5. まとめ

- ・拠点等整備における「体験の機会・場」の機能について確認した。
- ・地域生活を見据えた体験のための利用が可能なグループホームはあり、拠点等整備における「体験の機会・場」に準ずる社会資源は存在する。
- ・地域生活の体験ができる社会資源について、障がい者や家族に周知し、利用につながる体制を構築していけると良い。

6. 当日の様子



7. 当日アンケートの結果

①本日の専門部会について

良かった	… 64.7%
概ね良かった	… 35.3%
普通	… 0.0%
あまり良くなかった	… 0.0%
良くなかった	… 0.0%

②岐阜市地域生活支援拠点等における「体験の機会・場」について理解できたか

理解できた	… 76.5%
どちらかと言えば理解できた	… 23.5%
どちらとも言えない	… 0.0%
あまり理解できなかつた	… 0.0%
理解できなかつた	… 0.0%

③「体験の機会・場」の提供について検討したいと思うか

(共同生活援助、宿泊型自立訓練、居住支援法人)

検討したい	… 33.3%
どちらかと言えば検討したい	… 55.6%
どちらでもない	… 11.1%
あまり検討したくない	… 0.0%
検討したくない	… 0.0%

④「体験の機会・場」の利用をすすめたいと思うか

(相談支援、施設入所、精神科病院)

すすめたい	… 36.4%
どちらかと言えばすすめたい	… 54.5%
どちらとも言えない	… 9.1%
あまりすすめたくない	… 0.0%
すすめたくない	… 0.0%

⑤岐阜市地域生活支援拠点等について、どのような「体験の機会・場」があると良いと思うか

- ・障がい者本人が望む生活に近い体験の場があると、将来利用する際の参考になる。
- ・新たに施設を設けるのではなく、既存の施設を利用できれば、障がい者が地域で生活するという理念に合う。
- ・障がい者本人のニーズや生活状況等の情報が適切に共有された上で提供できると良い。
- ・グループホームだけでなく、短期入所やアパート等での単身生活ができると良い。
- ・利用者、支援者共に気軽に利用できると良い。
- ・グループホームのイメージが持てるよう、複数人で利用できると良い。

- ・ 単身生活ができそうだが本人に自信がない場合に、試しに利用できると良い。
- ・ 調理の指導等、日常生活上の課題について練習できる場があると良い。
- ・ 買い物やセルフレジの使い方等の体験により、外出や食事に関する不安が軽減する。
- ・ 就労支援が受けられると良い。

⑥本日の専門部会について、意見、感想など

- ・ 障がい者本人によって必要な支援が異なるため、支援員の安定した配置体制をとることが難しい。
- ・ 日中活動の場へのアクセスを確保することに課題がある。
- ・ 相談機能を有する地域生活支援拠点等登録事業所から、話を聞けると良かった。
- ・ グループホームやその他社会資源についての周知が必要。
- ・ グループホームによっては、地域生活の体験としての利用が可能とわかって良かった。
- ・ 地域生活を実際に体験することで、実感が得られると思う。
- ・ 障害福祉サービス以外の社会資源について知ることができ、選択肢が広がった。
- ・ 今回のテーマに関して、今後さらに掘り下げて議論がなされていくと良い。